

書面回議の結果について

1 議題：第3期福岡県がん対策推進計画の進捗状況について

2 書面回議の結果：「意見なし」13名 / 「意見あり」9名

協議会 役職	氏名	所属・役職	意見あり / 意見なし
会長	松田 峻一良	福岡県医師会 会長	意見なし
副会長	前原 喜彦	九州中央病院 院長	意見あり
委員	青木 美紀子	福岡市保健福祉局健康医療部健康増進課 課長	意見なし
委員	大賀 正一	九州大学大学院医学研究院 教授	意見あり
委員	大島 彰	九州がんセンター 医長	意見あり
委員	大山 茂	福岡県歯科医師会 会長	意見なし
委員	神村 英利	福岡県薬剤師会 副会長	意見なし
委員	凶師 晃	厚生労働省福岡労働局職業安定部職業対策課 課長	意見なし
委員	高松 泰	福岡大学医学部 教授	意見なし
委員	塚田 順一	産業医科大学病院 診療教授	意見あり
委員	辻 裕二	福岡県医師会 常任理事	意見なし
委員	鶴 英樹	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課 課長	意見あり
委員	藤 也寸志	九州がんセンター 院長（がん診療連携協議会 代表）	意見あり
委員	鳥村 拓司	久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 教授	意見あり
委員	仲山 智恵	北九州市保健福祉局健康医療部健康推進課 課長	意見なし
委員	深野 百合子	あけぼの会 会長	意見あり
委員	二場 公人	福岡県市長会（田川市長）	意見なし
委員	本田 浩	聖マリア学院大学大学院看護学研究科 教授	意見なし
委員	松尾 やす子	福岡県看護協会 副会長	意見あり
委員	松永 智幸	福岡県町村会 相談役	意見なし
委員	宮崎 親	福岡県保健所長会 理事（糸島保健福祉事務所 所長）	意見なし
委員	山本 章子	がんの子どもを守る会 九州北支部 代表幹事	意見なし

2 ご意見及びコメント

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染で教育・啓発の機会がなくなっているため、対がん協会と共同で動画配信を行っているように、Web配信やDVDを作成してはどうか。 ・小児がん、特に新生児から乳幼児のがんをどのように健診でスクリーニングしていくかに取り組んで頂きたい。神経芽腫のスクリーニングの中止からどのように進めていくか、乳児白血病をどのように早期発見していくかなど。 ・内容に関しての意見は特になく、充実している。現状のコロナ禍で集合型は難しくがん教育などに、e-learningを取り入れてはと考えた。但し、直ちには難しく、これを今後の検討としてほしい。 ・COVID-19の状況に応じて、対策の変更の検討も必要かもしれない。 ・行政が在宅医療を進めるには、仕事と家族介護を両立しながら退院後の転院先や入所先を探すことの負担が大きいとされるため、北欧のように行政が転院先や入所先を探すなどとした、介護負担を担う必要があると考える。 ・がん検診の受診向上は、がん診療連携協議会でも院内がん登録データを活用して地域分析が行われていることから、実務者の声を聞きながら対策を検討することも必要と思われる。 ・ふくおかインターネットTVの啓発動画はがん検診の啓発にはとても良い企画だと思う。県民の方が全員がみられると良いと思う。 ・感染症対策の一環として、「若年層に対する日常生活における感染症予防の普及啓発」はとても重要と考える。県立高校等に対するリーフレット配布の反応状況はどうだったかの分析をする必要があるのではないかと考える。 ・がんに対する正しい知識の普及啓発のための対象として、小中学生にも拡大した働きかけも必要ではないかと考える。 ・小児がん、AYA世代のがんに対する各種施策の推進が益々重要となると考える。そのため、県民に対する制度の普及啓発が課題と考える。

3 結果

<p>今回頂いたご意見を参考に計画の目標達成に向けて取り組んでまいります。</p>
